

| 科目名 Course Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
|---|------------------------------------|-----------|--------|--------------|
| 英語II (栄養・他) English II | | 1年 | 後期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | 授業の性格 | | 履修上の制限 |
| 1単位 | 演習 | 必修 | (特になし) | 特になし |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 英語I | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | | 電話番号・メールアドレス |
| 加藤遼子 / ヴァネッサ・ロペズ | 講義棟3階 | 授業中に指示します | | 授業中に指示します |
| 授業の概要 | | | | |
| 中学・高校で学んできた英語の基礎的知識を復習しながら、栄養士として必要となる英語を学ぶ。さらにその英語を使用して料理を作ることができる。 | | | | |
| 授業の目標 | | | | |
| ①英語の基本的な文法事項を使い、テキストの内容を理解することができるようにする。 ②栄養士として必要な語を理解し、覚え、使うことができるようにする。 ③覚えた英単語やフレーズを使用し、実際に料理を作ることができるようにする。 ④ネイティブの英語を聞き取り、その意味を理解できるようにする。 | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| テキストを使用し、栄養士として必要な英語の語やフレーズを学ぶ。ペアワーク等で実際に口に出して発音をしたり、自分の意見を発表したりする。学んできたことを基に二回調理実習を行う。 | | | | |
| 学習の成果 (学習成果) | | | | |
| ①栄養士として必要な英語を覚え、使うことができる。 ②ネイティブの先生の英語を正しい意味でとらえることができる。また質問をすることができる。 ③学んだ英語を使い、実際に料理を作ることができる。 | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | ガイダンス・概要説明・評価方法説明 | | | |
| 第2回目 | Unit9 Giving Dietary Advice① | | | |
| 第3回目 | Unit9 Giving Dietary Advice② | | | |
| 第4回目 | Unit10 Talking about Diet① | | | |
| 第5回目 | Unit10 Talking about Diet② | | | |
| 第6回目 | Unit11 Reserching Diet Information | | | |

| | | |
|---|---|--|
| 第7回目 | Unit12 Life as a Dietitian | |
| 第8回目 | 第三回調理実習 準備・ | |
| 第9回目 | 第三回調理実習 調理 | |
| 第10回目 | Unit13 Talking about Diet② | |
| 第11回目 | Unit14 People with Special Dietary Needs | |
| 第12回目 | Unit15 Talking about Experiences | |
| 第13回目 | 第四回調理実習 準備 | |
| 第14回目 | 第四回調理実習 料理 | |
| 第15回目 | 授業の理解度確認、解説 | |
| 事前・事後学習 | [事前] テキストの意味の分からない単語・発音の分からない単語は事前に辞書で調べてくる。 [事後] 授業で行った箇所で理解できなかったところを繰り返し復習する。 | |
| 成績評価の方法と基準 | | |
| 評価の領域 | 割合 | 評価の基準 |
| 授業参加態度 | 30% | 授業に意欲的に参加している。グループワークの際積極的に意見を発している。 |
| レポート | 40% | 全二回の調理実習に対する事前のレポートと事後のレポートの内容がテーマに即したものであるか。(全二回) |
| 調査報告書 | | |
| 小テスト | 20% | 小テストで一定の点数を取っている。(全二回) |
| 試験 | | |
| 発表内容(態度含む) | | |
| その他 | 10% | 調理実習に意欲的に参加している。クラスメイトと協力している。 |
| 教科書と参考図書 | | |
| Noboru Matsuoka著 『One minute Presentation in English』 (松柏社) | | |
| 履修上の留意点・ルール | | |
| 毎授業、電子辞書を持参すること。 授業開始後30分後入室は欠席扱い。 | | |

| 科目名 Course Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
|---|--|-----------|--------|--------------|
| 英語Ⅱ (こどもフィールド) English II | | 1年 | 後期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | 授業の性格 | | 履修上の制限 |
| 1単位 | 演習 | 必修 | (特になし) | 特になし |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 英語I | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| 特になし | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | | 電話番号・メールアドレス |
| 加藤 遼子 | 講義棟3階 | 授業中に指示します | | 授業中に指示します |
| 授業の概要 | | | | |
| <p>中学・高校で学んできた英語の基礎的知識を復習しながら、将来保育従事者となる際に必要となる英語を身に着ける。保育に関連した英語のテキストを使い、必要な語句や文法事項の演習を行う。</p> | | | | |
| 授業の目標 | | | | |
| <p>①保育に関連する英語の語句を覚え、それを文章の中で使用できるようにする。 ②基礎的な文法事項を学び、それを文章の際に自然に使用できるようにする。 ③他者の意見や発表を聞き、英語で質問ができるようにする。また、英語で解答できるようにする。</p> | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| <p>保育に関連したテキストを使い、将来保育従事者として役に立つような語句、文法事項、発音を演習形式で行う。また、理解度チェックのために小テストも行う。</p> | | | | |
| 学習の成果(学習成果) | | | | |
| <p>①保育に関連する英語の語句を覚え、それを文章の中で使用できる。 ②基礎的な文法事項を学び、それを文章の際に自然に使用できる。 ③他者の意見や発表を聞き、英語で質問ができる。また、英語で解答できる。</p> | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | ガイダンス・概要説明・評価方法説明 | | | |
| 第2回目 | Unit9 Let's eat Lunch!① (インプット) | | | |
| 第3回目 | Unit9 Let's eat Lunch!② (アウトプット) | | | |
| 第4回目 | Unit10 What do you want to do?① (インプット) | | | |
| 第5回目 | Unit10 What do you want to do?② (アウトプット) | | | |
| 第6回目 | Unit11 What do you have to do?① (インプット) | | | |

| | |
|-------|---|
| 第7回目 | Unit11 What do you have to do?② (アウトプット) |
| 第8回目 | Unit12 I need to do potty① (インプット) |
| 第9回目 | Unit12 I need to do potty② (アウトプット) |
| 第10回目 | Unit13 Good Job! ①(インプット) |
| 第11回目 | Unit13 Good Job! ② (アウトプット) |
| 第12回目 | Unit14 Injuries and Emergencies① (インプット) |
| 第13回目 | Unit14 Injuries and Emergencies② (アウトプット) |
| 第14回目 | Unit15 We're going to go outside |
| 第15回目 | Reviews of Units 9 to 15 |

| | |
|---------|---|
| 事前・事後学習 | [事前] テキスト内の意味の分からない語や発音の分からない語を事前に辞書で調べてくる。 [事後] 授業で扱った内容で理解できない部分を繰り返し復習する。 |
|---------|---|

| 成績評価の方法と基準 | | |
|-------------|-----|------------------------------------|
| 評価の領域 | 割合 | 評価の基準 |
| 授業参加態度 | 30% | 授業に意欲的に参加している。発音練習の際に積極的に口を動かしている。 |
| レポート | | |
| 調査報告書 | | |
| 小テスト | 30% | 小テストにおいて一定の点数を取っている。 |
| 試験 | 40% | 試験において一定の点数を取っている。 |
| 発表内容 (態度含む) | | |
| その他 | | |

| | |
|----------|--|
| 教科書と参考図書 | Peter Vincent著 『Speaking of Childcare』 (南雲堂) |
|----------|--|

| | |
|-------------|---|
| 履修上の留意点・ルール | 毎授業、電子辞書を持参すること。 授業開始後30分後入室は欠席扱い。欠席をした際には欠席届を提出すること。 |
|-------------|---|